

札幌南税務連絡協議会会長賞

僕の夢と税金

北広島市立東部中学校二年 村岡 厚太

僕の将来の夢は消防士になることです。ということでは消防士と税金を関連付けて考えてみました。思いつくのは給料についてです。消防士は地方公務員なので、市町村の税金から給料が出ています。消防士の他に税金から給料が支払われている職業はたくさんあります。例えば警察官や学校の先生、政治家などなど色々ありますが公務員の給料は、すべて税金から支払われています。このように税金から給料が出ている仕事（公務員）はたくさんあります。話は変わりますが、先日大阪の道頓堀のビルの火災で消防隊員二人が亡くなりました。その事件を見たあとSNSでとある動画を見ました。内容は命をかけて消火活動をしている消防士の平均月収が二十万ほどで、クレーの聞いた涼しい会議室で話も聞かずに寝ている政治家の平均月収が二百万以上の給料をもらっているのはおかしいという内容でした。この動画を見て僕は、同じように国や地域の人のために働く公務員なのに消防士と国会議員の給料にこれほどの差があるのか、ということに改めて気付かされました。もちろんこの動画で言われていることが全てではないかもしれませんが。国民の生活が少しでも良くなるように頑張っている政治家もたくさんいるとは思いますが、やはりテレビで大事な国会の最中に居眠りをしている姿が映し出されている光景もよく目にします。このような政治家であっても成果のあるなしにかかわらず月二百万ももらえることは不思議で仕方がありません。また、このような話も聞きました。この八月にちょうど改革がされたのですが、それまでは国会議員には用途の報告も使わなかった分の返却も必要のない文書交通費というものが給与とは別に月百万円も支給されていたそうです。普通の会社員である自分の親に、仕事に必要な費用を会社に請求する場合、どんなやり方をしているのかと聞いてみました。すると、仕事に必要なものがあるときは、必ず何に何円使ったかの領収書を出さないとその分のお金をくれないとの答えでした。例えば仕事で書類を郵便で送るのに切手を購入した場合は、当然その切手分のお金しかもらえないというのです。また、なるべく余計なことにお金は使わないようにするのがあたりまえのことでした。同じ日本という国で仕事をしていても、会社員と政治家とで、仕事に対するお金の使い方が平等ではないというのは少し違うのではないのかなと思えます。話は最初に戻りますが、僕の将来の夢は消防士だと言いました。その理由は単純に人の役に立ちたいと思っただけです。消防士は給料を税金で貰う立場であり、その税金を納めている地域の人々ために命をかけて働くことが使命だと思えます。もしも消防士になれたなら、そのことを心に刻みながら日々働きたいと思えます。